

政策 03 快適な生活を支えるまちづくり

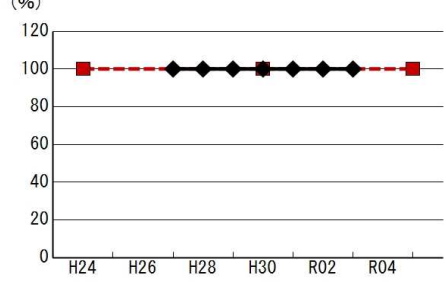


施策 03 安全で安定した水の供給

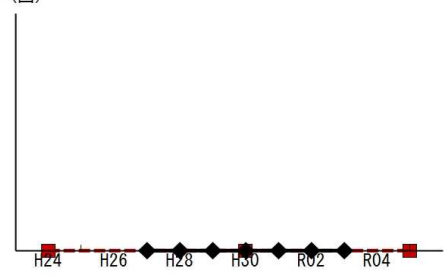


あるべき姿

施策がめざす尾張旭市の姿
安全で安定した水道水を使うことができます。

施策の成果状況と評価

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値


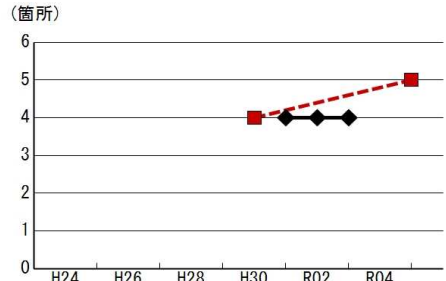

指標	安全な水道水が供給されている割合(日数ベース) (%)	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
		【上水道課】	100	100	100	100
評価	水質についての日常及び定期検査において基準値を超える異常値がなく、安全な水道水を供給することができた。					対 前年度
						 (横ばい)
						目 標 達成度
						 (達成)

指標	水道水供給事故回数 (回)	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
		【上水道課】	0	0	0	0
評価	広範囲(100世帯以上)において水道水の供給に支障が出るような大規模な事故はなかった。					対 前年度
						 (横ばい)
						目 標 達成度
						 (達成)


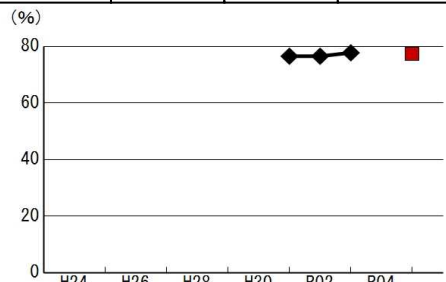


基本事業の成果状況と評価

基本事業01 安心な水の供給による信頼される水道（安全）


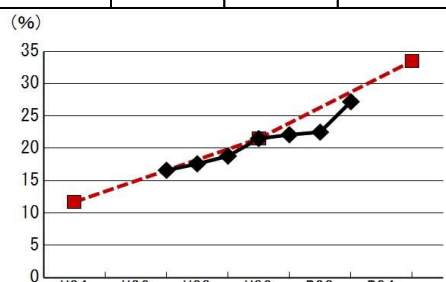

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	給水栓水質検査採水箇所数（箇所）	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
	【上水道課】	4	4	4	5	
評価	(状況) 採水箇所数は前年と変わらず横ばいである。 (原因) 採水箇所数の追加は令和5年度としているため。現在は採水箇所追加の必要性から精査を行っている。					対 前年度
						
						目 標 達 成 度
						(...)


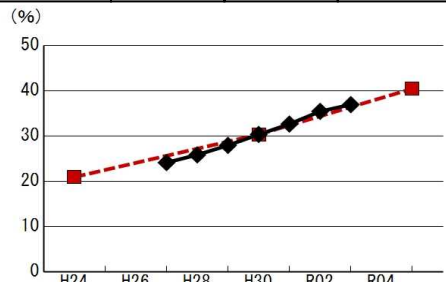

基本事業01 安心な水の供給による信頼される水道（安全）

指標	直結給水比率（％）	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
	【上水道課】		76.5	77.7	77.2	
評価	(状況) 前年度実績値に比べ、現状値が1.2ポイント増加した。 (原因) 規模の大きな集合住宅が貯水槽給水から直結給水に切り替えたことが大きな要因である。					対 前年度
						
						目 標 達 成 度
						
						(達成)

基本事業02 災害に負けないたくましい水道（強靱）

指標	配水管の老朽化率（％）	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
	【上水道課】	21.5	22.5	27.2	33.5	
評価	成果指標である老朽化率（配水管総延長に対する布設後40年以上経過した配水管の割合）は27.2%で、令和2年度の22.5%より4.7ポイント上昇した。老朽化した塩化ビニル管の更新事業を実施し、老朽化率の上昇を減少させるよう努めていく。					対 前年度
						
						目 標 達 成 度
						(...)

基本事業02 災害に負けないたくましい水道（強靱）

指標	幹線管路の耐震化率（％）	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
	【上水道課】	30.3	35.4	36.9	40.4	
評価	平成23年度に策定した「幹線水道管耐震化基本計画」に基づく幹線管路の耐震化事業と北原山土地区画整理事業に伴う耐震化により、成果指標である幹線管路の耐震化率は36.9%となり、当初の目標設定時の年度計画値34.6%を上回った。					対 前年度
						
						目 標 達 成 度
						(...)

基本事業02 災害に負けないたくましい水道（強靱）

グラフの凡例 前 後期基準値及び後期目標値 実績値

指標	有収率（％）	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
	【上水道課】	95.2	94.2	94.3	96	☔ (低下)
評価	成果指標である有収率（給水量に対する使用水量の割合）は、94.3%で令和2年度より0.1ポイント上昇した。平成21年度の97.57%をピークに低下傾向にあるため、今後も老朽管の更新事業や配水施設の適正な維持管理により、有収率の向上に努める。					対 前年度
						☁ (横ばい)
						目 標 達 成 度
						(---)

基本事業02 災害に負けないたくましい水道（強靱）

指標	応急給水拠点箇所数（拠点）	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
	【上水道課】	13	15	15	15	☀ (向上)
評価	応急給水拠点の整備は全て完了した。					対 前年度
						☁ (横ばい)
						目 標 達 成 度
						🏰 (達成)

基本事業03 いつまでも続く安定した水道（持続）

指標	総収支比率（％）	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
	【上水道課】	121.0	105.4	120.6	100以上	☁ (横ばい)
評価	前年度に比べ、実績値が15.2ポイント増加した。これは前年度、新型コロナウイルス感染症対応として実施した水道料金の基本料金免除を令和3年度は行わなかったため、総収益のうちの給水収益が増加したことによるものである。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達 成 度
						🏰 (達成)

基本事業03 いつまでも続く安定した水道（持続）

指標	企業債残高対給水収益比率（％）	基準値 (H30)	実績値 (R02)	実績値 (R03)	目標値 (R05)	対 基準値
	【上水道課】	39.5	32.4	34.9	300以下	☀ (向上)
評価	令和3年度は起債借入があったことで、償還を行ったものの企業債残高の減少が微減にとどまった。このため、前年度より実績値は上がっている。					対 前年度
						☔ (低下)
						目 標 達 成 度
						🏰 (達成)